

年頭のごあいさつ

千早赤阪村長 松本政之輔



方の絶大なるご援助によりまして、いよいよ発展の一路をたどりつつありますこととは、誠に同慶にたえません。

千早赤阪村民の皆さま明けましておめでとございませう。

輝かしい昭和四十一年の新春を迎えるにあたりまして皆さまのご健康と、ご多幸を御祝い申し上げます。わが千早赤阪村も合併以来、早や十周年を迎えることになりましたが、皆さま

新春を迎えて

千早赤阪村議会議長 山田忠廣



び申し上げます。

朝な夕なに金剛葛城連山を仰ぎ見る私たち千早赤阪村も、旧千早村と赤阪村が合併致しまして、早や十年の歳月が過ぎ去りました。この間、村の行政またさまたまな出来事があり、今日に至りました。

昭和四十年も過ぎ去り、新しい昭和四十一年の希望ある新春を迎え、村民皆さま方も、ますますご健勝にてお過ごしのこととお慶

特に金剛、生駒固定公園の指定を契機といたしまして、その首途であります金剛山に親しむ者が日増しに激増しつつある今日、本村におきましては、地域の特性を生かし、史跡と自然景観の保護育成をなすこと、青少年育成センターと府民憩いの場所を建設する計画の下で、その手はじめに府下で始めてのロープウェーを架設することになり、鋭意工事を進め近く開通の予定であります。

今後、この金剛山開発事業の推進をはじめ、教育施設の充実、水道、道路、社会福祉施設の整備拡充、産業の進展など我が千早赤阪村の明るく豊かな、住みよい村づくりに邁進いたすことを固くお誓いするものといたします。

またその反面、昨春の降雪による被害、台風二十四号による当村に及ぼした影響も、まことに甚大で一部家屋の流出、田、山、山林など被害も相当なものがありました。国の行政社会のできごとなどテレビ、ラジオ、新聞を通して速報されるように村の皆さままでのごことを村民の皆さまへお知らせす

と進みつつあり、また金剛山ロープウェーも近く完成され、この千早赤阪村も各方面からの期待と発展の一途をたどりつつある次第であります。

その他、村の行事など種々この広報紙を通じて皆さま方の深いご理解、貴重なご意見、ご批判を賜わり、広報紙の充実をはかり、愛され楽しめる村たよりとして育ち行くことを念じ創刊号の発行のごあいさつと致します。

輝かしい

新春を迎えて

村民の皆さまあけましておめでとございませう。お元気で新しい年をお迎えのことと存じます。

今年も村の発展と皆さまのしあわせをめざし、全力をあげて行きたいと思っております。

- 農業委員会 新田 光治
会長 大溝 巖
消防団長 矢倉 弘知
民生委員総務 道田 憲一郎
体育連盟副会長 武部 良直
全副会長 川辺 英和
青年団長 竹田 綾子
婦人会長 遺族会副会長 谷 重夫
全副会長 北村 治一
副会長 山本 ウサ
老人クラブ会長 吉田 茂一
森屋区長 内田 梅吉
水分区長 竹田 貞次
川野辺区長 辻 佐一
二河原辺区長 新田 良造
桐山区長 土井 和夫
吉年区長 道田 憲一郎
小吹区長 岡林 三郎
中津原区長 谷 重夫
下東阪区長 大溝 良一
上東阪区長 清井 又治
千早区長 山田 忠廣

- 村長 松本政之輔
助役 道田 一次
助役 宮本 鹿信
副議長 山田 忠廣
議長 松本 翠
東條 玉一
武田 伊三
建石 甚一郎
大橋 慶二
植野 操
道端 一郎
新田 光治
谷 重夫
清井 義雄
川辺 清一
浦 文吉
大溝 巖
福田 与平治
武部 良直
建石 辰治
公平委員会 山本 修一
教育委員会 山本 庄三
選挙管理委員会 西野 健造
委員長



(順序不同)

届 け 出 と 証 明

手続きと方法

[illegible]

行政機構改革

について

金剛山ロープウェイ事業工事の進展に伴ない、昭和四十年十二月一日付をもって、行政機構の改革を実施つぎのとおり拡充強化されました。



住民登録の届出を

忘れずに

住民登録は、市区町村役場であらゆる行政事務を誤りなく簡単に、迅速に処理できる人々の居住関係を「住民票」という公簿に記載したものであります。ですから本籍地に居住している人も、本籍地でない人も、市町村に住んでいる人も、日本人である限り全部役場でもこれを基礎にして

その住んでいる市町村の役場で住民登録をしなくてはなりません。

この住民登録をすることによって、入学、予防接種印鑑証明、居住証明、身元証明及び配給、運転免許の申請その他いろいろの利益を受けることとなります。

住民登録の届出は転入、転居、変更及び国外移住の四種類で、転入届は他の市町村から住所を移転した場合、転居届は村内で住所を移転した場合、変更届は世帯主の変更など世帯構成に変更があった場合、国外移住届は外国に移住する場合に行うものであります。

転入、転居、変更届は住所の移転、又は世帯構成に変更があった日から十四日以内に、また国外移住届は外国に移住する前にあらかじめ届出をすることになっております。

未だに住民登録をどこの市区町村にもしていない方々方は、早速役場で手続を済して下さい。そしてこれから住民登録の届出を励行して、正確な住民票を作り、何時でも誰でもが日常生活に利用できるようにしましょう。

あなたの老後の幸を
守る国民年金を

昭和三十四年十一月一日「人生を楽しく暮す」国民年金法が施行されてから、今年で七年目を迎えますが、この間全国で被保険者は二千万人を超え、拠出された保険料の積立金も一千億円に達し、三百万人にのぼる国民が福祉年金を受給するなど、我が国の所得保障制度の柱として大きく成長しました。

当社においても被保険者は一、五〇〇人を数え、福祉年金も二五六人、金額にして三百七十七万六千円の年金を受給しております。

① 万一の場合に備えること
② 老後のために備えること
この二つが必要です。若い人や、自分の手に職を持っている人達には、なかなかかむずかしい事ですが、誰でも簡単に出来る方法があります。

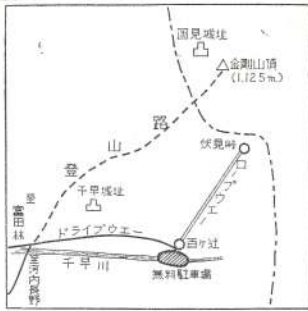
それは国民年金に加入される事です。

「国民年金はあなたの豊かな老後を守る制度です」
保険料は期日まで必ず納めましょう。

金剛山ロープウェイ 建設着々進む

ー大阪の屋根金剛山へー

金剛、生駒国定公園の指定であります。
定を契機として、その首脳である金剛山に親しむ者が日増しに激増しつつある今日、本村におきましては、青少年育成センターと府民の憩いの場所としての観光地を建設する計画のもとにその手はじめに府下で始めてのロープウェーを架設することになりました。
さる四十年七月九日、左藤知事、古川代議士、村主府會議員、村民代表参列のもと、起行式を挙行、安全索道株式会社施行により、鋭意工事を進め近日開通予定です。
このロープウェーは、千早百ヶ辻(標高七〇〇米)から伏見峠(標高九七五米)に至る一・三三三米を結ぶもので、これが開通致しますと金剛登山は、今までより一時間三十分短縮されます。
索道の構造 三線交走式
普通索道
建設費総額 二億円(全額起債)
索道の仕様 全長 一・三三三米
客車 五人乗 二輛
能力 秒速 五米



村章決定について

入選者きまる

今般、千早赤阪村章を募集致しましたところ九十七点の応募作品をいただき、誠にありがとうございました。紙上を通じまして厚く御礼申し上げます。
つきましては、地方事務所において慎重審査をしていただき、結果、次の通り千早赤阪村章を決定いたしました。
入選 杉本吉次郎(千早)



戦没者特別弔慰金の 支給についてお知らせ

昭和四十一年四月一日が亡くなったたり受けた配までに遺族 偶者が昭和二十七年三月三十一日までに氏を改めないで、遺族でない人と事実婚を受けた方 昭和四十一年四月一日現在、遺族でない人と婚姻したとき公務扶助料(氏をかえなくて法律婚姻遺族年金等)をした方は除きます。は、の受給者がその戦没者の子は弔慰金をある方は除 受けたとみなされます。かれます。 (十年以内償還無利子、記子で、本人 名国債です) 詳細は役場へが弔慰金をお問い合わせ下さい。

民生委員の 改選について

全国一せいに昨年十二月一日付で民生委員が改選され、当村におきましても、つぎのとおり厚生大臣より委嘱がありましたのでお知らせ致します。

- | | |
|--|-----------|
| 全国一せいに昨年十二月一日付で民生委員が改選され、当村におきましても、つぎのとおり厚生大臣より委嘱がありましたのでお知らせ致します。 | 下東阪 大橋 弥一 |
| 上東阪 矢倉 弘知 | |
| 西津原 奥野 ミノエ | |
| 宮の尾 田中 肇 | |
| 中尾 日津原 肇 | |
| 東の尾 千早左岸 井ノ本 熊雄 | |
| 千早右岸 豊田 房江 | |
| 森屋北 竹村松太郎 | |
| 森屋中、南 菊井 弘 | |
| 森屋西、上 内田 勇 | |
| 水分山の井 赤坂貞太郎 | |
| 水分南、北 浅井 卯一 | |
| 川野辺 彼塚 善治 | |
| 桐山 奥田 治 | |
| 二河原辺 新田 勇 | |
| 吉年 道城 熊次 | |
| 小吹 植田 政子 | |

たばこ消費税 について

たばこは村内で買いましょう

たばこ愛用者の皆さんにお願い致します。店に必要量をお買い求めの上ご持参下さい。外の市町村で買いになりますと、その分の消費税が、その所轄市町村の収入になります。左記の通り一個のたばこでも、村財政に直接およぶこととなりますので、この趣旨をご理解賜わり特別のつきましては、外出されご協力をお願い致します。ます際は、本村内のたばこ

品名	価額	税率	税額(村収入)
しんせい	四〇円	百分の一・五	約 六円
いこい	五〇円	〃	〃 七円五〇銭
ピー	四〇円	〃	〃 六円
ハイライト	七〇円	〃	一〇円五〇銭

しない、させない交通違反

毎月十五日は近畿交通安全でー

毎月五日は少年を守る日

家庭も社会も健全な青少年を育てるために協力しましょう。

国勢調査の

結果について

昨年十月昭和四十年国勢調査の実施にあたり、深いご理解とご協力をいただいた村民ならび調査員各位に、対し心から謝意を表します。
ここに前回と今回の調査結果の一部を公表いたします。

国勢調査結果表(部落別 世帯人口数)									
(昭和35年10月1日)				(昭和40年10月1日)				差引増減(一印は減)	
部落名	世帯数	男	女	世帯数	男	女	計	世帯数	男
森屋	210	519	534	1053	225	520	540	1060	15
水分	164	373	434	807	165	386	432	818	1
桐山	55	131	129	260	53	131	132	263	-2
川野辺	39	108	98	206	41	125	104	229	2
二河原	42	94	104	198	43	95	107	202	1
吉年	58	140	158	298	58	138	154	292	0
下東阪	86	203	205	408	84	189	215	404	-2
上東阪	66	170	177	347	65	154	168	322	-1
小吹	67	177	177	354	69	179	170	349	2
中津原	103	242	269	511	102	239	269	508	-1
千早	165	447	396	843	204	570	423	993	39
合計	1055	2604	2681	5285	1109	2726	2714	5440	54
									122
									33
									155

保健衛生のお知らせ

常に健康にご注意を

- ▽血液型検査 一月下旬、二月下旬
- ▽寄生虫検診 二月中旬
- ▽ねずみ退治 二月中旬
- ▽赤ちゃんコンクール 三月上旬
- ▽暮しの健康メモ
- 食べすぎないよう、胃腸はとくに過労気味、ほこりの多い季節、のどを潤す。
- 寒さがきびしいと、とかく窓をしめきりがち。たばこの煙が目にしみる前に換気をどうぞ。
- 汗をかくような暖房過剰は、かえって風邪ひきのもと。温度計を備えて適度に調節しましょう。
- あなたの血圧は、大丈夫？寒い季節に多い脳卒中と心臓病、もっともいやな冬、お互いに気をつけて健康で楽しくお暮しを。

『史話と伝説』

地名考―御所谷

饒速日尊が降臨されたと伝えられる葛城山と役行者開山による山岳宗教の霊峰金剛山を境にし、重畳と重なり合う山岳地帯と石川の平担地にうつる。変化多き山麓に地を占めているのが、わが千早赤阪村であります。山容変りなく悠然と横たわっている金剛の峰は、数千年の昔から二十世紀の今日に至る長い年月の間、人々の営みと移り行く世の中を黙々と眺めてきたことであらう。そして野の草、山の木立、谷川の岩のひもとついたり、喜し言葉をもつていたり、若し言葉の歴史を私たちが孫に物語りてくれることでありましよう。

中津原の日出目を過ぎ、東之尾にさしかかる北東にうっそうと茂る山林があり、これが御所山(中津原二五九番地)であり、樹間溪谷を縫って清流が蛇行しているが、この谷が御所谷(中津原一九三・一九五・二〇〇番地)であります。その地名より何か歴史的な感じが受けられます。

中津原、谷重氏所蔵の古文書に次のような記録があります。

「記日人皇十四代中津天皇御宇、夷王高津都使者遣献書翰其文不敬多帝御怒賜踏之使者帰国王告怒而千朝軍艦帝深山幽隠賜夷船神風難波而逝去右隱步地今中津原云干地御所谷地有夜通日出路名也」

慶長十三歳申七月古書写之 帝田七郎左衛門 明治三庚午歳三月再写之 谷 七左衛門

文中中津天皇とは、第十四代仲哀天皇のこと、御所名を足仲彦尊(たらしなかつひこのみこと)と申し上げるが、天皇が外冠を恐れ、現在の中津原の地に行幸され、御所を設けられたと伝えられ、これが御所山、御所谷の地名の起源であり、部落名中津原ならびに日出部の地名の由来であると考えられます。

以上はあくまでも伝説にすぎませんが、仲哀天皇御陵が美濃町に御廟と称せられるものが河内長野市大原にあり、また中津原の隣接の大井部落に第三十代敏達天皇(約三百年後)の皇居があったとも伝えられるので、ある程度の真実性も想像されるが、それよりも郷土の祖先がかく信じ、語り伝えてきたことに、私たちの胸奥の琴線にふれるものがあり、これらを味わう所に自然と心の温みを覚えるものであります。

大阪府農林技術センター

研修生募集

種別	研修期間	入所資格	内容
普通科	一年	中学卒業後二〇才未満の者	農業経営者としての基礎教育
研究科	一年	普通科卒業後またはこれと同等以上の学力のある者	農業経営者としての専門技術教育
高等科	二年	高等学校卒業後	農業経営者または技術者としての高度な専門技術教育

①入所資格及び募集人員 募集人員 各二〇名

②願書受付期間 昭和四十一年二月一日の三月二十四日

③試験日時及び場所 昭和四十一年三月二十五日 農林技術センター

自衛官募集

▽資格 十八才以上二十五才未満の日本国籍を有する男子

▽試験 中学校卒業程度の筆記試験(国語、数学、社会、理科)身体検査および面接試験

▽受付期間 昭和四十一年四月第四次募集は二月末日まで

なお、試験は希望される日に受験できますので、詳細につきましては、役場総務課または、より相談所へご相談下さい。

相談所 小吹 岡林 三郎 千早 福田与平治 水分 竹田 貞次

編集後記

▽村民の皆さま、あけましておめでとうございます。今年も新しい昭和四十一年の新春を迎え、皆さまの健康と、ご多幸をお祈り致します。

△創刊号発行に当り、山田議長、村長よりご祝辞を賜わり、また各主管課よりご協力をいただきありがとうございます。今後家庭に直結し、本村発展のエネルギーとなる広報紙に育て上げて行きたいと存じますので、皆さまのご教示と、ご協力をお願い致します。